




緑の園 9月号
ヒルトップハイツ
グリーンプラザ 
デイサービスセンター
だより  
 第51号
 令和 2年9月1日発行

Led Zeppelin/Led ZeppelinIII (1970)

敬老の日おめでとうございます。

今月の21日(月)は「敬老の日」です。
 今年は新型コロナウイルス感染症のためいろんな行事が中止や延期さらには規模の縮小などの影響を受けてしまっています。

当法人の施設におきましても例年通りの開催は困難な状況です。



さて、当法人の施設をご利用されておられる方の最高齢者は大正3年(1914年!)生まれの佐竹様の御年106歳(数え年で107歳)です。

大正3年という年は何があったのか調べたところ今年開催予定でありました東京オリンピックの五輪のマーク(オリンピックシンボル)が大会旗として制定されましたし、6月に起こったサライボ事件をきっかけに第1次世界大戦が開戦となった年でもあります。

佐竹さんは数え年でいえば来年108歳になりますが、この108歳という年齢は「茶寿(ちゃじゅ)」とわれます。(茶という字を分解すると十十八十八その合計が百八…。だそうです。)

基本長寿のお祝いは、99歳の「卒寿」までしかなかったと思いますが



今は「茶寿」のお祝いに該当されるご長寿様もたくさんおられます。

「敬老の日」は多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し長寿を祝うことを趣旨として昭和41年に国民の祝日として制定されました。



なお、平成15年からは「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律」により従来の9月15日から9月の第3月曜日に改められました。

さて、長寿に関連する言葉としては「健康寿命」があります。

「健康寿命」と「平均寿命」のちがいは多くの方がご存知のことと思いますが、その「健康」とはどういうことでしょうか。



WHOは「身体的・精神的・社会的に完全に良好な状態であり、単に疾病または病弱の存在しないことではない。」と健康を定義しており病気でないことが重要な要件となっています。

しかしながら、高齢の方の場合は身体機能や臓器機能の衰退・低下は避けられず、WHOの高齢者研究においても「自律」していることを健康の指標にすることと報告されています。

「患者が求める高齢者医療の優先順位に関する意識調査」では「延命(治療)」を希望される方は調査項目中最下位だったそうです。

疾患を治療し、活動を保ち、生活機能を維持することが上位に上がっていることからQOL(生活の質-クオリティ・オブ・ライフ)やQOD(クオリティ・オブ・デス-死の質QOL)と対比されますが「本人の思い通りに、そして倫理的に許容できる範囲で不快から解放された死」というのが質の高い死とされるとのことです。自分でもういいや、とって死んでいくことではなく最後までよりよく生きることを支えることがQODを高めることにつながる)の向上を図ることが大切であり望まれていることです。

お年寄りの場合は健康であることと病気がないこととは同じ意味ではありません。

病気と共に生活していくことが求められそんな状況であっても「自律・自立」して行けることがお年寄りにとっての「健康」なのかもしれません。(おばら)



**心温まるご寄付
ありがとうございました。**

先月当法人の事業をへご寄付をいただきましたのでご紹介いたしますとともにこの場をお借りいたしましてお礼申し上げます。

ありがとうございました。



「修学資金貸与事業」へ

遠軽町丸瀬布 涌島正成様



レクリエーションの日(緑の園)/ おやつの日(グリーンプラザ)

先月の19日(水)緑の園ではクリエイションで玉入れを行いました。

園内でしたので天気は全く関係ありませんが当日は30度を超えた真夏日でした。

冷房の効いた園内でしたが熱のこもった楽しいレクリエーションでした。

同じ日、グリーンプラザではおやつ作りで「フルーツポンチ」をいただきました。

こちらはみなさんおいしそうな笑顔で夏の午後を満喫しておられました。

思うような園内活動ができない中、少しでも季節をいただける行事や、レクリエーション活動を展開していきたいと思っております。

Web面会をご利用ください。

新型コロナウイルス感染症予防のため当法人では面会制限を継続させていただいております。

面会につきましてはWebでの面会ができるようになっておりますがまだまだご利用いただいた回数がとても少ない状況が続いております。



せっかくの機会ですのでお気軽に担当者までご連絡いただきますようお願い申し上げます。
おわり(おばら)